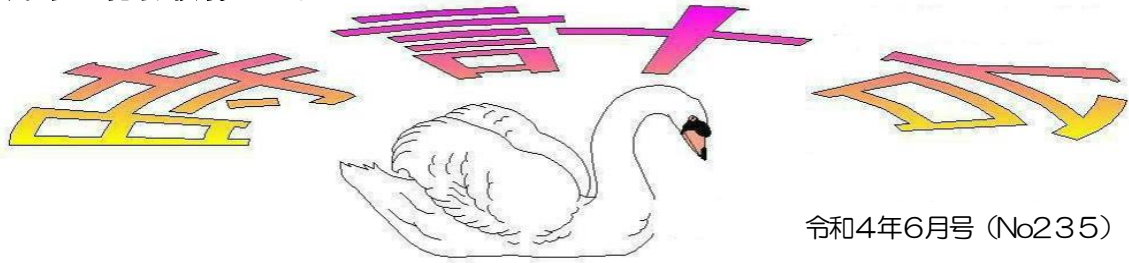


伊丹市立総合教育センターだより



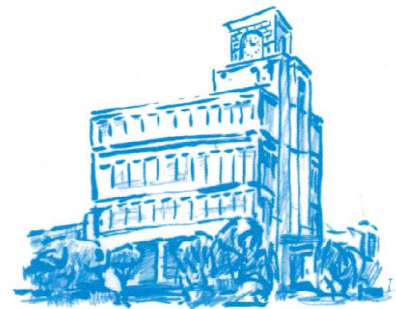
令和4年6月号 (No235)

調査をうまく活用しよう！！

伊丹市立総合教育センター
所長 永嶺 香織

毎年実施される「全国学力・学習状況調査」は、例年8月初め頃に、その詳細な結果が国から提供されますが、みなさんの学校では、どのように活用されていますか。

文部科学省の令和3年度全国学力・学習状況調査における「調査問題や結果活用に関する回答結果」にはこのようなことが示されていました。



調査問題について、「学力・学習状況の把握のため、調査問題を授業の中で取り上げているか」といった質問項目では、全国の小学校の77.7%、中学校の76.1%の学校が取り上げていると回答しています。また、「調査問題全体を活用し、校内研修等を通じて、授業の改善を行っているか」といったことについては、小学校69.5%、中学校58.9%が活用していると回答しています。

次に、調査結果について、「課題が見られた点を中心として、校内研修を実施し、授業改善に活用しているか」といった項目では、小学校87.3%、中学校74.7%が活用していると回答しています。

全国学力・学習状況調査は、学習指導要領において求められている『育成すべき資質や能力』がどれくらい育まれているか、また、学力ときわめて相関の高い「学習状況」がどのような状況であるのか等を客観的に把握するものです。よってこの結果は当該学年だけが把握すればよいものではありません。学校全体で、校内研修等を通じてその結果を共有し、授業改善等に活かしていかなければなりません。

本市においては、これまでも全国学力・学習状況調査をはじめ、学校評価や授業評価、授業を撮影した動画などさまざまなデータを活用し、授業改善などに活かしてきました。今後は、これらの教育データにICTがどんどん活用されていくことになると思います。

様々な調査は、十分に活用してこそ意味があるのです、教師の感覚的なものも大事ですが、調査結果から得られる客観的なデータをもとに、授業改善、生活習慣の確立などに活かしていただきたいと思えます。

全国学力調査・学習状況調査を活用しよう！

全国学力調査・学習状況調査の結果をどのように生かしていくのか。この調査の目的は学校における児童生徒への**教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる**。さらに、そのような取組を通じて、**教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること**です。

学力調査

今年度は**理科**の問題が実施されました

1 問題を解く

まずはグループで問題を解いてみましょう。**異学年・異教科でグループ**を作って取り組むことで、「どの学年での学習内容が問われているのか」「他教科でも求められている力」に気づくことができます。

2 求められている力を考える

問題を解く際には、設問ごとに**どのような力が児童生徒に求められているのか、考えながら解く**ことが大切です。

左の問題は今年度の「小学校理科」で出題された問題ですが、この設問では**どのような力が求められている**のでしょうか。（「令和4年度全国学力調査・学習状況調査 解説資料 小学校 理科」より）

この設問では、

【問題】を解決するために必要な観察の視点を基に、解決するまでの**道筋を構想し、自分の考えを持つこと**

が求められています。

つまり、問題を的確に把握する力だけでなく、**他者の予想や仮説を把握し、条件を制御する**などの考え方を働かせながら、解決の方法を発想することが大切です。

このように、実際に解きながら考えることで、結果を分析する際に児童生徒のつまずきや、学校としての課題が見えやすくなります。

3 結果を分析し、学校の課題と改善策を考える

8月に提供される調査結果を、全国平均等と比較するだけでなく、2での「求められる力」や「調査の意図」と併せて自校の結果を分析しましょう。分析結果から「児童生徒の実態」を職員全員で共有し、めざす子ども像に向けて学校でどのような取組が必要かを考えることが大切です。

全国学力調査・
学習状況調査

問題・調査
項目の分析

自校の課題・児童
生徒の実態把握

課題解決に向けた授業改善方法の検討。学校目標や研究テーマに基づいた取組

学習状況調査

1 調査項目を読む

児童・生徒質問紙ではそれぞれ69項目の調査があります。自分のクラスの子どもはどうだろうか？と思いつかべながらまずは読んでみましょう。

2 調査項目の意図を考える

69ある調査項目は、それぞれ何を意図しているのか、下の文章を例に考えてみましょう。（「令和3年度全国学力・学習状況調査報告書 質問紙調査」より）

①新聞を読んでいますか
⇒学習習慣

②友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
⇒主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に関する取組状況

③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
⇒挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

ICTを活用した学習状況や学習に対する興味・関心、学習習慣など、**授業改善につながる内容**も扱われています。児童生徒の実態把握だけではなく、学校の取組や授業づくりを振り返るための指針として考えましょう



ひろしさんたちは、ナナホシテントウのたまごを見つけました。ひろしさんは、次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを飼育しながら観察し、タブレット端末に記録していきことにしました。

ひろしさんの記録

ナナホシテントウの観察
5月16日 晴れ 23℃

【問題】
ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。

・葉の裏にたまごがある
・たまごはまもって、黄色で大きさは1mmくらい
・たまごは細長い形をしている

(1)ほかの人たちも、それぞれ次のような【問題】を解決するために、ナナホシテントウを観察し、記録しています。

【問題】
ナナホシテントウは、みどりさん、なつこさん、あきらさん

下の記録は、だれが記録したのと考えられますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

ナナホシテントウの観察
5月23日 くもり23℃

【問題】
ナナホシテントウは、みどりさん、なつこさん、あきらさん

・たまごからかえって4日目。
・幼虫が一度殻をぬいだ。
・アブラムシを食べている

考えたこと
今、アブラムシを食べているから、皮をくり返しぬいでも、アブラムシを食べると思う。

1 ひろしさん
2 みどりさん
3 なつこさん
4 あきらさん

全国学力・学習状況調査を当該学年だけの課題と捉えず、その**学校全体の課題**という意識をもって、**分析や授業改善**に取り組むことが大切です。

教育相談



総合教育センターでは、心理士や専門医による教育相談を実施しております。子育てや学習についてなど、様々な悩みに応じて実施しておりますのでお悩みの方はご連絡ください。

来所相談

電話での申し込み
Tel 072-782-2484

①こころの相談

〈実施日〉平日：9時00分～18時00分 水・土曜：9時00分～17時00分

〈内容〉臨床心理士等による心理療法・遊戯療法・箱庭療法・絵画療法等
継続的な心の支援

②特別支援教育相談

〈実施日〉月・木曜：9時00分～18時00分 水曜：9時00分～17時00分

〈内容〉発達に関する相談

③ことばの支援教室

〈実施日〉金曜：11時00分～17時00分

〈内容〉言語聴覚士によることばに関する相談
(構音障害・吃音障害・声の異常)



電話相談

電話での相談
Tel 072-772-6171

〈実施日〉平日：9時00分～18時00分 水・土曜：9時00分～17時00分

〈内容〉お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談

医療心理相談

学校園からの申し込み

〈実施日〉毎月第2火曜(原則)

〈内容〉心身に障害のある子どもや心理的な原因により問題行動などについて専門医からの助言

医療発達相談

学校園からの申し込み

〈実施日〉毎月第3木曜(原則)

〈内容〉発達に関する障害等により、生活や学習上の困難を呈する子どもについて専門医からの助言



空き状況等によっては、相談の開始をお待ちいただく場合がございます。
ご理解いただきますようお願いいたします。

発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金：9:00～21:00
水・土：9:00～17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
(来所・電話相談)
月・火・木・金：9:00～18:00
水・土：9:00～17:00

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

